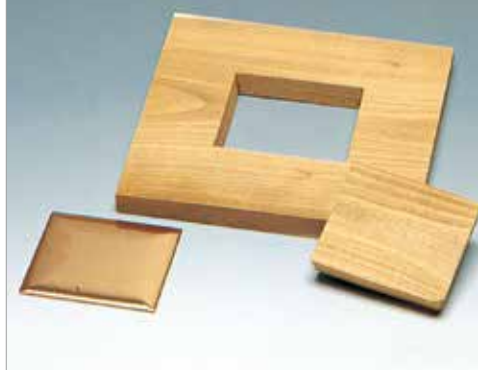


額付七宝 (裏引未)

5750 額付七宝セット ----- ¥1,000+税

桂板 160 × 150 × 14mm 傾斜きりき加工済
丹銅板 60 × 70 × 1.2mm プレス加工済

10セットに

七宝えのぐ標準 12色各 10g
研磨綿、竹べら 10本 付き七宝焼きの作品を木彫りの額縁にはめこみ、
ルームアクセサリーをつくりましょう。丹銅板は素焼きをして酸洗いし、表面のよごれを落とした後、制作するとよいでしょう。
裏引きと表の施釉をして同時に焼成してもよいです。

七宝コースター (銅板付き)

5770 角 ----- ¥500+税

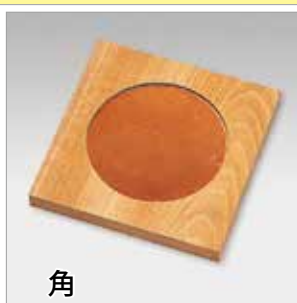
桂板 100 × 100 × 10mm ルーター加工済

5771 花 ----- ¥670+税

朴板 100 × 100 × 10mm ルーター加工済

丸型銅板のみ (裏引未)

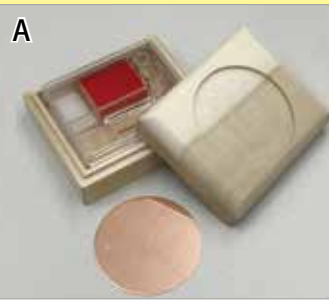
2350 φ70 × 0.5mm ----- ¥300+税



角



花



A



B

無くなり次第廃止

七宝印鑑入れ

5760 A ----- ¥1,250+税

ルーター加工済

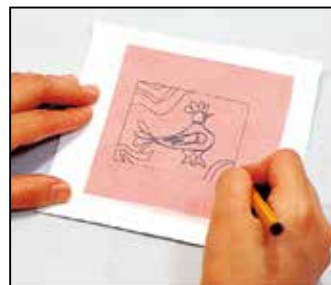
5761 B ----- ¥1,500+税

ルーター加工済・ニス塗装仕上げ

上記いずれも
箱(朴材)サイズ 103 × 93 × 46mm
プラケース(朱肉、ブラシ、スポンジ入)付き
銅板(φ70 × 0.5mm)付きです。

平脱七宝の制作手順

●丹銅板 60 × 70 × 1.2mm プレス加工済を使用

1. 丹銅板を金属研磨綿でよくみがき、
水で溶いた裏引き絵の具を平らに盛り
ます。よく乾燥させて、表に群青(背
景にする色)を盛ります。2. 乾燥後 800℃で焼成します。背景色は濃
い透明色(黒透、エビ茶など)が良いです。
赤系にする時は白透を一度焼成すると発色
がきれいです。3. 銀箔を真ちゅうブラシで軽くたたき、
穴をあけます。和紙にヤマトのりをのば
してつけ、銀箔をはって乾燥させます。4. 下絵用紙に描いたデザインを裏にし
て、3の和紙にカーボン紙で写し、デ
ザインどおりカットします。5. カットした4をピンセットで水に放
し、和紙をはがしながら、2のベース
の上にデザインどおりに置きます。6.5を800℃で焼成します。銀用白透を、
焼成した銀箔の上に薄く盛り、800℃
でもう一度焼成します。7. 彩色します。銀用絵の具や透明絵の
具がきれいに仕上がります。補色して
1~2回焼成してもよいでしょう。

8. 完成。銀の色合いがきれいです。